

坂井市【漂着ゴミの軽減・絶滅】

(1) 地域課題分野

[] ①交通、 [] ②防災、 [✓] ③環境、 [] ④健康福祉、 [] ⑤産業、 [] ⑥農林水産、 [] ⑦教育、 [] ⑧行政、 [] ⑨観光・文化、 [] ⑩その他

(2) 課題

- ・ゴミ回収作業の難航：崖など、人が入りにくい場所に漂着したゴミ回収が困難で、費用も増大するため、十分なゴミ回収ができていない。
- ・漂着ゴミ回収に対する流域市民からの要望は強いが、予算や人員に限られる中で十分に対応できていない。
- ・感染症等のリスク：地域住民の協力で回収活動をしていたが、コロナ禍により、大人数で集まってゴミ回収作業を行うことが難しくなった。

(3) 現状

- ・九頭竜川の河口は、上流からのプラスチックゴミやアジア、朝鮮半島などからの大量のゴミが漂着し、環境悪化や漁業に大きな影響を与えている。
 - 坂井市における漂着ゴミの回収量 (R4年度)
【合計】3.5t / 【内訳】流木(木材) 40% 漁業関係(ロープ等) 25% プラスチック(ペットボトル等) 35%
 - 市における海岸漂着ゴミ回収の総事業費(R4年度)：約43万円
- ・漂着ゴミの対応は、河川については河川管理者、海岸については海岸管理者、また、地域の環境美化の観点で、地域住民の協力を得ながら市が対応している。

(4) ステークホルダー

関係者・団体、関係市町・部署等	役割・立場
エコネイチャー・さかい	河川・海岸の漂着ゴミ回収している地域団体
三国サンセットビーチ振興会	河川・海岸の漂着ゴミ回収している地域団体
国(河川国道事務所)	河川管理者
県(砂防防災課)	海岸(一般公共海岸等)・河川管理者

(5) 地域課題解決の糸口

- ・太陽光などの再生可能エネルギーを使いAIを搭載した小型ゴミ回収船、浮遊型回収機、プロペラ型のプラスチック回収機、また、浮遊ネット等による新しい回収技術の開発と継続的なゴミの回収、人が入りにくい場所でも低コスト・効率的に漂着ゴミを回収できる技術・システムの提案

(6) 提供可能な資産・データ

- ・地元機関への協力依頼
- ・実施・検証フィールドの提供